

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	職務の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修課程全体（130時間）の構成と各研修科目（10科目）相互の関連性の全体をあらかじめイメージできるようにし、学習内容を体系的に整理して知識を効率・効果的に学習出来るような素地の形成を促す。 ・視聴覚教材等を工夫するとともに、必要に応じて見学を組み合わせるなど、介護職が働く現場や仕事の内容を出来る限り具体的に理解させる。 			
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
多様なサービスの理解	3時間	3時間		≪講義・演習内容≫ (1) 介護保険サービス、介護保険外サービスの意義
介護職の仕事内容や働く現場の理解	3時間	3時間		≪講義・演習内容≫ (1) 居宅、施設の仕事内容の理解 (2) 介護職の資格体制の見直し、キャリアパスの全体像 (3) DVDを活用し、現場のイメージを深める
合計	6時間	6時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	介護における尊厳の保持・自立支援				
指導目標	介護における尊厳という概念に対する理解、虐待を受けている高齢者への対処方法についての知識を習得する。利用者及びその家族の要望にそのまま応える事と、自立支援・介護予防の考え方に基づいたケアの実践の違い、自立の概念への気づきを理解する。残存機能を効果的に活用しながら自立支援や重度化の予防・遅延化に資するケアへの理解を促す。				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容・演習の実施方法等
人権と尊厳を支える介護1	3時間	0.5時間	2.5時間	(1-1-1)	<<講義・演習内容>> (1) 人権と尊厳の保持 (2) ICF (3) QOL <<通信課題の概要>> 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
人権と尊厳を支える介護2	3時間	0.5時間	2.5時間		(4) ノーマライゼーション (5) 虐待防止・身体拘束の禁止 (6) 個人の人権を守る制度の概要 <<通信課題の概要>> 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
自立に向けた介護	3時間	0.5時間	2.5時間	(1-1-2)	<<講義・演習内容>> (1) 自立支援 (2) 介護予防 <<通信課題の概要>> 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
合計	9時間	1.5時間	7.5時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	介護の基本				
指導目標	<p>・介護の基本概念、職業倫理の重要性を習得し、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について理解を促す。介護職としての基本的役割と医療・看護との連携の必要性について理解を促す。</p> <p>・介護におけるリスクへの気づき、緊急対応の重要性の理解と介護職に起こりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対するストレス、健康管理について理解を促す。</p>				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容・演習の実施方法等
介護職の役割、専門性と多職種との連携 介護職の職業倫理	3時間	1.5時間	1.5時間	(1-2-1) (1-2-2)	≪講義内容≫ (1) 介護環境の特徴の理解 (2) 介護の専門性 (3) 介護に関わる職種 (4) 介護職の倫理と意義 (5) 介護職としての社会的責任とプライバシーの保護・尊重 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全	3時間	1.5時間	1.5時間	(1-2-3) (1-2-4)	≪講義内容≫ (1) 介護における安全の確保 (2) 事故予防・安全対策 (3) 感染対策 (4) 介護職の心身の健康管理 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
合計	6時間	3時間	3時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	介護・福祉サービスの理解と医療との連携				
指導目標	介護保険制度や障がい者自立支援制度を担う一員として介護保険制度の理念に対する理解を徹底する。 利用者の生活を中心に考えるという視点を共有し、その生活を支援するための介護保険制度、障がい者自立支援制度、その他制度のサービスの位置づけや、代表的なサービスの理解を促す。				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容・演習の実施方法等
介護保険制度	3時間	1時間	2時間	(1-3-1)	≪講義内容≫ (1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向 (2) 仕組みの基礎的理解 (3) 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
医療との連携とリハビリテーション	3時間	0.5時間	2.5時間	(1-3-2)	≪講義内容≫ (1) 服薬介助と留意点 (2) 医療行為、健康チェック、訪問看護、施設における看護と介護の役割と連携 (3) リハビリテーションの理念 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
障がい者自立支援制度及びその他制度	3時間	1時間	2時間	(1-3-3)	≪講義内容≫ (1) 障がい者福祉制度の理念 (2) 障がい者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 (3) 個人の権利を守る制度の概要 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
合計	9時間	2.5時間	6.5時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	介護におけるコミュニケーション技術				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の心理や利用者との人間関係を著しく傷つけるコミュニケーションとその理由について考えさせ、相手の心身機能に合わせた配慮が必要であることへの気付きを促す。 ・チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、記録等を作成する介護職一人ひとりの理解が必要であることへの気付きを促す。 				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容・演習の実施方法等
介護におけるコミュニケーション	3時間	1.5時間	1.5時間	(2-1-1)	≪講義内容≫ (1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 (2) コミュニケーション技法、道具を用いた言語的コミュニケーション (3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の
介護におけるチームのコミュニケーション	3時間	1.5時間	1.5時間	(2-1-2)	≪講義内容≫ (1) 記録における情報の共有化 (2) 報告 (3) コミュニケーションを促す環境 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
合計	6時間	3時間	3時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	老化の理解				
指導目標	高齢者に多い心身の変化、疾病の症状等について具体例を挙げ、その対応における留意点を説明し、介護において生理的側面の知識を身に付けることの必要性への気づきを促す。				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容・演習の実施方法等
老化に伴うこころとからだの変化と日常	3時間	1.5時間	1.5時間	(2-2-1)	<講義内容> (1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 (2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 <通信課題の概要> 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
高齢者と健康	3時間	1.5時間	1.5時間	(2-2-2)	<講義内容> (1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 <通信課題の概要> 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
合計	6時間	3時間	3時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	認知症の理解				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症利用者の心理・行動の実際を示す等により、認知症の利用者の心理・行動を実感できるよう工夫し、介護において認知症を理解することの必要性への気づきを促す。 ・複数の具体的なケースを示し、認知症利用者の介護における原則についての理解を促す。 				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容・演習の実施方法等
認知症を取り巻く状況	1時間	0.5時間	0.5時間	(2-3-1)	≪講義内容≫ 認知症ケアの理念 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
医療的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2時間	1時間	1時間	(2-3-2)	≪講義内容≫ 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5時間	1時間	0.5時間	(2-3-3)	≪講義内容≫ (1) 認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴 (2) 認知症利用者への対応 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
家族への支援	1.5時間	1時間	0.5時間	(2-3-4)	≪講義内容≫ 認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
合計	6時間	3.5時間	2.5時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	障がいの理解				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護において障がいの概念とICFを理解しておくことの必要性の理解を促す。 ・高齢者の介護との違いを念頭におきながら、それぞれの障がいの特性と介護上の留意点に対する理解を促す。 				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容・演習の実施方法等
障がいの基礎的理解	1時間	0.5時間	0.5時間	(2-4-1)	<講義内容> (1) 障がいの概念とICF (2) 障がい者福祉の基本理念 <通信課題の概要> 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1時間	0.5時間	0.5時間	(2-4-2)	<講義内容> (1) 身体障がい (2) 知的障がい (3) 精神障がい (4) その他の心身の機能障がい <通信課題の概要> 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
家族の心理、かかわり支援の理解	1時間	0.5時間	0.5時間	(2-4-3)	<講義内容> 家族への支援、障がいの理解・障がいの受容支援、介護負担の軽減 <通信課題の概要> 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
合計	3時間	1.5時間	1.5時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	こころとからだのしくみと生活支援技術 I				
指導目標	・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施出来る。				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容・演習の実施方法等
介護の基本的な考え方	3時間	1時間	2時間	(3-1-1)	≪講義・演習内容≫ (1) 理論に基づく介護 (ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除) (2) 法的根拠に基づく介護 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
介護に関するこころのしくみの基礎的理解	2時間	1時間	1時間	(3-1-2)	≪講義・演習内容≫ (1) 学習と記憶の基礎知識 (2) 感情と意欲の基礎知識 (3) 体の状態が心に与える影響 (4) 老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5時間	1時間	4時間	(3-1-3)	≪講義・演習内容≫ (1) 人体の各部の各称と動きに関する基礎知識 (2) 骨・関節・筋に関する基礎知識 (3) ボディメカニクスの活用 (4) 中枢神経と体性神経に関する基礎知識 ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の
合計	10時間	3時間	7時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	こころとからだのしくみと生活支援技術 II				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実践に必要なこころとからだのしくみの基礎的な知識を介護の流れを示しながら、視聴覚教材や模型を使って理解させ、具体的な身体の各部の名称や機能等が列挙できるように促す。 ・サービスの提供例の紹介等を活用し、利用者にとっての生活の充足を提供し、かつ不満足を感じさせない技術が必要となることへの理解を促す。 ・利用者のその生活を支える技術の根拠を身近に理解できるよう促す。 ・「死」に向かう生の充実と尊厳ある死について考えることができるように、身近な素材からの気付きを促す。 				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容・演習の実施方法等
生活と家事	4時間	1.5時間	2.5時間	(3-2-1)	≪講義・演習内容≫ 家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的理解と生活支援（生活歴・自立支援・多様な生活習慣・価値観など） ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
快適な居住環境整備と介護	4時間	1.5時間	2.5時間	(3-2-2)	≪講義・演習内容≫ 快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法（バリアフリー・住宅改修・福祉用具貸与） ≪通信課題の概要≫ 別紙、「通信学習実施計画書」の通り
整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	6時間			≪講義・演習内容≫ 整容に関する基礎知識、整容の支援技術（衣服着脱・整容行動・洗面）
移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	6時間			≪講義・演習内容≫ 移動・移乗に関する基礎知識、様々な移動・移乗に関する用具とその活用法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点支援
食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	6時間			≪講義・演習内容≫ 食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用法と食事形態とからだのしくみ ・楽しい食事を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	こころとからだのしくみと生活支援技術 II				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実践に必要なこころとからだのしくみの基礎的な知識を介護の流れを示しながら、視聴覚教材や模型を使って理解させ、具体的な身体の各部の名称や機能等が列挙できるように促す。 ・サービスの提供例の紹介等を活用し、利用者にとっての生活の充足を提供し、かつ不満足を感じさせない技術が必要となることへの理解を促す。 ・利用者のその生活を支える技術の根拠を身近に理解できるよう促す。 ・「死」に向かう生の充実と尊厳ある死について考えることができるように、身近な素材からの気づきを促す。 				
入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	6時間			《講義・演習内容》 ・入浴、清潔保持に関する基礎知識、 ・さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法
排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	6時間			《講義・演習内容》 ・排泄に関する基礎知識、 ・さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法
睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	6時間			《講義・演習内容》 ・睡眠に関する基礎知識、 ・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法
死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	6時間	6時間			《講義・演習内容》 ・終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援
合計	50時間	45時間	5時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	こころとからだのしくみと生活支援技術 III			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程における基礎的理解を習得する ・生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を選定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の状況に合わせた介護を提供する視点の習得を目指す。 			
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
介護過程の基礎的理解 1	3時間	3時間		≪講義・演習内容≫ 介護過程の目的・意義・展開
介護過程の基礎的理解 2	3時間	3時間		≪講義・演習内容≫ 介護過程とチームアプローチ
総合生活支援技術演習 1	3時間	3時間		≪講義・演習内容≫ 事例による展開 (1) 要介護者、家族介護者への支援 (2) 要支援者への支援 (3) グループディスカッション、発表
総合生活支援技術演習 2	3時間	3時間		
総合生活支援技術演習 3	3時間	3時間		
合計	15時間	15時間		

介護職員初任者研修シラバス（通信課程）

研修事業者名：株式会社 エヌジェイアイ

科目名	振り返り			
指導目標	利用者の立場においた模擬演習の実施、介護における基本的態度の形成を図る。 研修を通じて習得したことの復習と再確認を促す。 最新知識の付与と次のステップに向けての課題を認識させる。			
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
振り返り	2時間	2時間		<講義・演習内容> 研修を通して学んだこと根拠に基づく介護についての要点を振り返る
就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2時間	2時間		<講義・演習内容> 継続的に学ぶこと、研修修了後における継続的な研修についてイメージできるような事例の紹介
合計	4時間	4時間		